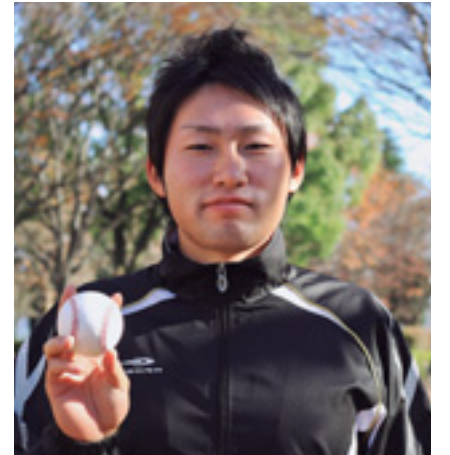


いきいき
まえばし人



育成ドラフトで巨人から指名
神田 直輝さん・21歳
鶴が谷町

夢に向かって常に前向き

準硬式野球部員ながら巨人から育成ドラフトで指名された。現在群馬大教育学部に通う4年生。全指名選手最後の83番目に名前を呼ばれた。「監督や野球部の仲間と一緒に報告を受けました。待っている間不安でしたが、呼ばれてホッとしました。中1から野球を始め、投手は高校に入ってから。初めは上手投げだったが制球に苦しんだ。転機は高2の秋。試しに横手から投げるとフォームが安定。思い切り腕を振ることができ球威と制球力がアップした。「日ごろから体のバランスを意識しています。利き手ではない左手も使うようにしてあります」

人の入団テストでは自身も納得のピッチング。群馬大・上條監督も、身体面と精神面が充実すれば、まだまだ伸びると太鼓判を押す。「目標はかつての巨人のエース・斎藤雅樹投手。自慢の直球とスライダ―で三振の取れる投手になりたいですね」

現在は毎朝7時から、群馬大のグラウンドで汗を流す。ランニングなどの体力づくりがメインだ。「1日も早く支配下登録選手になり、1軍の試合で登板したいですね。それが、両親や今までにお世話になった人々への1番の恩返しだと思います」

名前のとおり、得意の輝くような直球を武器に、東京ドームのマウンドで活躍する姿が待ち遠しい。



ライブで競う斬新なアート

12月6日、前橋アートコンペライブ2009を前橋テルサで行いました。現代アートの力作436点から選ばれた32点を、作者が観客の前で説明。審査員とのやりとりは、時にほほ笑ましく、時に激しく、会場は熱気に包まれました。

美しい旋律が議場に響く



12月1日、市議会議場で議場コンサートが行われました。本市在住の成田達輝さんが「ツイゴイネルワイゼン」など3曲をバイオリンで披露。議員や傍聴に訪れた人たちは大きな拍手を送りました。

親子で冬の赤城を自然体験

12月5日・6日に赤城少年自然の家で冬のキャンプを開催。5日はことし3回目の雪景色に。ホワイトクリスマスを思い、クリスマスリースを作りました。また、6日は快晴となりツリーイングなどの自然体験を親子で楽しみました。



クローズアップ



小中学生が朔太郎詩描く

萩原朔太郎の詩を題材に子どもたちが描いた絵の展覧会が前橋文学館で開かれました。会場は感性あふれる作品643点を展示。6日には授賞式も行われ、入賞者やその家族が来場し、作品を熱心に見入っていました。展覧会は1月24日まで開催しています。

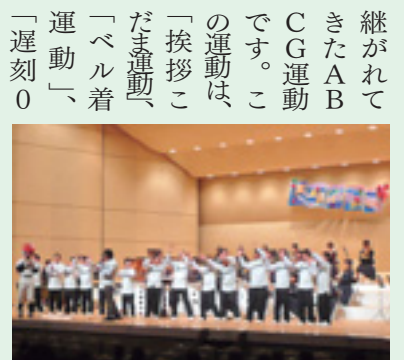


行進の先頭で開会式を盛り上げる

わたしたちの
学校
ニュース
継承される伝統

わたしたちの三中には、継承されてきた伝統があります。1つは市や県の中学校総合体育大会の開会式の手伝いです。毎年行われるこの開会式では県内で唯一、三中生が裏方として補助役員や係員を務め、素晴らしい開会式を作り上げてきました。先輩たちから心構えを受け継ぎ、行進の歩き方やタイミングなどを練習。こゝしも素晴らしい開会式を作り上げ、無事に成功させることができました。

もう1つは、先輩たちから受け



みんなで楽しく発表

このほかにも、伝統の文化発表会では、吹奏楽部や保健委員会の発表があったり、先生たちの歌声が聞けたりと、生徒と先生が協力して楽しんでいます。これにより、生徒会のスローガンである「笑顔・友情・一体感」を実現します。今後本校の伝統を後輩たちに伝え、三中生としての誇りを持って、より素晴らしい伝統を築いていきたいと思えます。

生徒会長 若林 大勝さん

三中